

|| 特集 || 令和8年度広島平和記念式典派遣事業

広島で学び 磐田で伝える

市では、次代を担う子どもたちが平和について学び、その想いを地域へ伝えていくことを目的に、平成22年度から「広島平和記念式典派遣事業」を実施しています。今年度は、市内11校の中学校から2人ずつ、計22人が広島を訪れました。

問 総務課 ☎ 37-4803 FAX37-4829 ページ番号：1007411



令和8年度広島平和記念式典派遣団

※各校、右3年生、左2年生

小柳 慶志郎	水谷 緒帆	【福田中】	石井 絢太	松山 彩佳	【南部中】	濱田 紗衣	村越 美桜	【神明中】	室谷 江蓮	片岡 真琉子	【向陽中】	渡辺 朔	平野 愛依	【城山中】	佐野 羽琉飛	鈴木 夕葵	【磐田第一中】
			飯田 礼花	鈴木 華綾	【磐田東中】	大西 香歩	猪原 千愛	【豊岡中】	平出 真士	阿部 真希	【豊田南中】	新井 蓮	池谷 心葉	【豊田中】	服部 咲希	石原 蒼空	【竜洋中】

計22人



広島で 学ぶ



派遣団の感想文などは
市ホームページに掲載



平和記念公園 広島平和記念資料館

ボランティアガイドの説明を聞きながら平和記念公園を巡り、広島平和記念資料館では、当時の写真や被爆者の手記などが並ぶ展示を見学しました。

広島平和記念式典

国内外から参列者が集い、原爆で亡くなった方々を慰霊しました。式典には、派遣団も参列し、世界の恒久平和と核兵器廃絶を祈りました。

城山中学校 平野愛依さん

平和への誓いで「平和とは、誰かから与えられるものでなく、世界中の人々で創り上げるものです」という言葉を聞いて、自分自身が平和のために何ができるか考えることが大切だと思いました。

全国こども平和サミット

全国のこどもたちが被爆の惨状と共に学び、平和への想いを地域へ持ち帰ることを目的に開催されています。被爆者の体験談や平和への取り組みの発表などを通して、平和について考えました。

磐田第一中学校 佐野羽琉飛さん

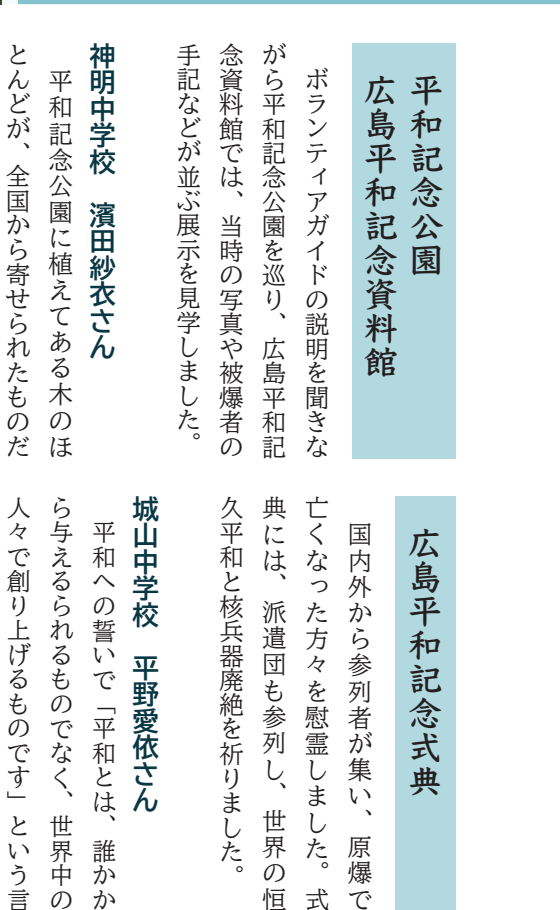
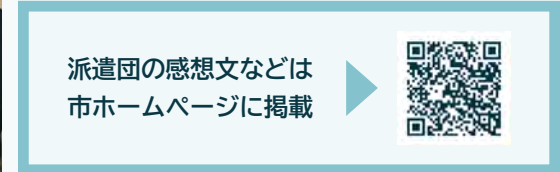
同じ「平和」というテーマでも、一人一人が違った考えを持っていることを知りました。実際に被爆した方のお話を聞いたことで、原爆を決して他人事ではないと感じ、平和についてもっと知りたいと思うきっかけになりました。

安田女子中学高等学校

本市は、被爆桜の苗木を分けていただいたご縁から、同校との交流が続いています。今年も派遣団が訪問し、被爆桜の苗木を各地へ届けた想いを、生徒会の皆さんから伺いました。

南部中学校 松山彩佳さん

私たちでも平和のために一歩、何かできることがあると教えていただいたことが心に残っています。「大切にしたいものがある」この想いが一歩平和に近づける鍵であり、この想いを持って、自分にできることを探していきたいです。



子どもたちが考える それぞれの平和



豊岡中学校 大西香歩さん

あなたが思う「平和」とは？

私の思う平和は、みんなが協力し、対話を大切にする、笑顔があふれる世界だと思います。今回の派遣の中でさまざまな話を聞き、共感する中で、平和とはとても達成するのが難しく、掲げ続けるべき目標だと思いました。

「平和」のために必要なこと

私はまず、自分の生活、言動、態度を見直したいと思います。自分の周りが笑顔で楽しく過ごせるよう努力します。自分を見直してから、今回学んだことや平和への想いを多くの人に伝えていきたいと思います。それを聞いたみんなが平和を自分ごととして捉え、それぞれの表現方法で伝えていくことが、平和のために必要だと思います。

向陽中学校 室谷江蓮さん

あなたが思う「平和」とは？

広島に行く前は、安全でみんなが平等であることが平和であり、大切なことだと思っていました。しかし、今回の派遣を通じて、もちろん前述したことも大切だけれど、自分と相手を尊重し、思いやること、そして自分も含めて全員で創り上げていくものだと思うようになりました。

「平和」のために必要なこと

ボランティアや学生、被爆経験者の方々など、たくさんの方が受け継いできた平和と命の尊さを、私たちも次世代へつないでいくこと、より多くの人に伝え、広めることです。そして、我が校が受け取った被爆桜とその歴史も次世代につなぎ、原爆についての事実を忘れず、向き合うことです。



新井さん（左） 水谷さん（右）



平和への想いを伝える石原さん

豊田中学校 新井蓮さん
今回の派遣事業で学んだことや、被爆された方の貴重な言葉を次の世代につなげたいと思います。一人でも多くの人に平和について考えてもらえるようにしたいです。

福田中学校 水谷緒帆さん
資料館で、言葉だけでは伝わらない原爆の恐ろしさや被害の大きさを肌で感じました。また、平和について考える中で、今ある環境が当たり前ではないことも改めて感じました。

代表の2人が、SB Sラジオに出演し、広島での気づきを伝えました。

ラジオ番組出演

広島で学んだことや平和への想いを、地域や学校など、さまざまな場で伝えていきます。

磐田で伝える



磐田市平和祈念式

今年の派遣団を代表して石原さんが「平和への想い」を発表しました。過去の広島派遣参加者も平和を創るために行動していくことを平和への誓いとして発表しました。

竜洋中学校 石原蒼空さん

私はこれまで、平和とは「人々が一生を幸せに暮らせること」だと考えていました。しかし、広島平和記念式典に参加し、原爆ドームで見た悲惨な光景から、平和とは「一人一人の自由と尊厳が守られること」だと思うようになりました。すべての人々が「ここにいていいんだ」と居場所を得られることこそが幸せの土台だと気づきました。

これから人々の想いと平和の尊さをしっかりとこの胸に刻み、学びを未来へ活かせるような行動を心がけていきます。
※発表内容をもとに要約